



© Wienfoto.wien

World Peace Concert in Suwa 2021

# タケカワユキヒデ バルカン室内管弦楽団

ゴダイゴ・タケカワユキヒデの  
名曲の数々とともに異国の旅へ

ガンダーラ

モンキー マジック

銀河鉄道999 - Galaxy Express 999

ビューティフル ネーム

ホーリー アンド ブライト

サンキュー ベイビー

ハピネス ※弾き語り

カトマンズ

テイキング オフ!

セレブレーション

ベチリ(コソボ作曲家):スピリット オブ トラディション\*

ヴィッチ(セルビア作曲家):セルビア舞曲『コロ』\*

バルトーク:弦楽のためのディヴェルティメントより\*

※曲目は急遽変更になる場合がございます。

\*オーケストラ楽曲



2021 **12**月**18**日[土]

開場18:30 開演19:00

岡谷市文化会館  
カノラホール 大ホール

[ヴォーカル]タケカワユキヒデ

[指揮]柳澤寿男(バルカン室内管弦楽団音楽監督)

[管弦楽]バルカン室内管弦楽団

※世界的な新型コロナウイルス感染拡大における困難な状況下での来日になりますので、バルカン室内管弦楽団メンバー10名程度と日本人音楽家による編成で演奏いたします。万が一、バルカン室内管弦楽団メンバーが来日できない場合でも、今回はバルカン室内管弦楽団に縁のある日本人音楽家のみ編成で開催いたします。

全  
指  
定  
席

一般/  
3,800円

高校生以下/  
1,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください  
※学生証の提示をお願いする場合があります

チケットお問い合わせ

●岡谷市文化会館カノラホール窓口  
TEL:0266-24-1300 ※開館日の午前8時30分~

●イベントナガノ  
<http://www.event-nagano.net/>

●指揮者柳澤寿男後援会  
TEL:090-7009-6985  
e-mail:bco\_info@yahoo.co.jp

[主催] シモ・エンタープライズ株式会社  
バルカン室内管弦楽団日本公演2021実行委員会

[企業特別協賛] 株式会社龍角散/株式会社ダブルスタンダード/日野自動車株式会社/株式会社晋遊舎

[企業団体協賛] (50音順) アサヒグループホールディングス株式会社/上野製菓株式会社/株式会社木屋製作所/国際ソロプチミスト国分寺/佐藤製菓株式会社/双日株式会社/株式会社テックインターナショナル/一般社団法人日本保釈支援協会/株式会社メディアドゥ/株式会社ヤマハミュージックジャパン

[個人協賛] (敬称略) 西河洋一/赤浦徹/角崎悦子/井田純一郎/岩崎節子

[後援] 指揮者柳澤寿男後援会/指揮者柳澤寿男諏訪後援会

[協力] 学習会・音楽アカデミー/ポド・リポムの会



BSジャパン(テレビ東京系)『戦場に音楽の架け橋を～指揮者柳澤寿男コソボの挑戦(日本放送文化大賞グランプリ受賞)』でも放送された、バルカン半島の奇跡の民族共栄オーケストラ。

## タケカワ ユキヒデ 音楽家/ゴダイゴ

1952年10月22日埼玉生まれ。音大教授の父を持ち、5歳からバイオリン、10歳から作曲を始める。1975年、東京外国語大学在学中に全曲英語詞のアルバム「走り去るロマン」でソロアーティストとしてデビュー。翌76年にゴダイゴ結成。ボーカルと作曲を担当し「ガンダーラ」「モンキーマジック」「銀河鉄道999」「ビューティフルネーム」など、数多くのヒット曲を生む。80年代以降もヒットメーカーとして、アーティストへの楽曲提供や、映画音楽にCMソング・主題歌等を数多く手掛ける。現在は音楽活動の他、エッセイなどの執筆活動、テレビ・ラジオ番組への出演や講演・コンサート活動と幅広く活躍中。2006年には結成30周年を機にゴダイゴも恒久的再始動を宣言する。

詳しくはオフィシャルHP <https://www.takekawayukihide.com/>

## 柳澤寿男 指揮者・バルカン室内管弦楽団音楽監督

2005-2007年マケドニア旧ユーゴ国立歌劇場首席指揮者。2007年、UNMIK国連コソボ暫定行政ミッション下のコソボフィル響首席指揮者に就任。2007年、旧ユーゴの民族共栄を願ってバルカン室内管弦楽団(以下BCO)を設立。これまでにウィーン、ジュネーヴ、ベオグラード、ニューヨーク、東京など世界各地でWorld Peace Concertを開催し、諏訪内晶子(ヴァイオリン)、ペーテル・ヤブロンスキー(ピアノ)、パスカール・ロジェ(ピアノ)各氏等と協演。柳澤寿男とBCOの活動は、BSジャパン(テレビ東京系)『戦場に音楽の架け橋を～指揮者柳澤寿男コソボの挑戦(日本放送文化大賞グランプリ受賞作品)』等数多くの番組で放送されているほか、日本の高等学校教科書「世界史A(実教出版)」、「最新図説現社(浜島書店)」に記載。2019年9月には天皇陛下がコソボでの柳澤寿男の活動に言及。またコソボの芸術・文化の発展とBCOを通じた地域和平への尽力に対しコソボ大統領勲章(文化交流賞)を受勲。著書に「バルカンから響け! 歓喜の歌(晋遊舎)」、2020年、ドヴォルザーク・チャイコフスキー「弦楽セレナーデ(ベルリンAUDITE)」をリリース。現在、バルカン室内管弦楽団音楽監督、コソボフィルハーモニー響首席指揮者、ベオグラード・シンフォニエッタ名誉首席指揮者、東日本大震災復興支援のひとつとして坂本龍一氏音楽監督による東北ユースオーケストラ指揮者、京都フィルハーモニー室内合奏団ミュージックパートナー。

## バルカン室内管弦楽団

バルカン室内管弦楽団(以下BCO)は、2007年に日本人指揮者柳澤寿男によってバルカン半島(特に旧ユーゴスラヴィア)の民族共栄を願って設立。2009年5月、コソボ北部ミトロヴィツァにおいてUNDP国連コソボ開発計画、ABD特定地域対象プログラム、UNKT国連コソボチーム、KFOR国際安全保障部隊、コソボ警察などの協力のもと、コソボ紛争後初となる、民族混成オーケストラによる歴史的コンサートを実現。2010年、ニューヨーク国連総会に付随するイベント「バルカン・リーダーズ・サミット」に招かれ、バルカン半島各国大統領・首相を前に演奏を披露。2011年には、UNDP国連開発計画アルバニアと共にロマ民族の子供たちとの共演コンサートを開催。2015年からはWorld Peace Concertを一年に一度世界各地で開催。これまでに楽友協会ホール(ウィーン)、コンツェルトハウス(ウィーン)、ヴィクトリアホール(ジュネーヴ)、コララツホール(ベオグラード)、サラエボ国立劇場(サラエボ)、軍隊ホール(サラエボ)、紀尾井ホール(東京)、第一生命ホール(東京)などでコンサートを開催しているほか、2016年にはジュネーヴ国連欧州本部総会議場で演奏を披露(国連欧州本部、在ジュネーヴ日本政府代表部主催)している。バルカン室内管弦楽団は旧ユーゴスラヴィア中南部地域文化の貴重な架け橋として存在しており、バルカン半島のクラシック界を牽引する主要オーケストラの首席奏者が参加しているほか、ヨーロッパの名オーケストラで活動するバルカン半島出身の音楽家も加わり、高い水準を持ったオーケストラとして急成長を続けている。設立13年目の2019年、軽井沢大賀ホールにおいて、ドイツ・ベルリンAUDITEとともにドヴォルザーク・チャイコフスキー「弦楽セレナーデ」のレコーディングを行い、2020年に待望のリリース。13年かけて磨き抜かれた東欧オーケストラの民族共栄の響きに期待が高まっている。楽団員はこれまでに、クロアチア人、ボスニア人、セルビア人、モンテネグロ人、アルバニア人、マケドニア人、ギリシャ人、ブルガリア人、ルーマニア人等が参加。国や民族、宗教を越え、「世界市民」をメッセージに、人類の共存共栄を願うBCOは、音楽が共通の言語、共通の感覚として人々の心を繋いでいくことを強く願っている。

## [バルカン室内管弦楽団日本公演2021を応援する会] 50音順・敬称略

※肩書きはチラシ作成時

逢沢一郎 日本セルビア友好議員連盟会長

明石 康 公益財団法人 国立京都国際会館理事長

石松伸一 聖路加国際病院院長

黒澤 啓 青山学院大学大学院非常勤講師  
元JICAバルカン事務所長

近衛忠輝 元国際赤十字・赤新月社連盟会長

塩崎恭久 日本スロヴェニア友好議員連盟会長

塩谷 立 日本コソボ友好議員連盟会長

下村憲正 国連開発計画インドネシア代表  
元国連開発計画アルバニア代表

角崎悦子 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン理事

角崎利夫 元在セルビア・モンテネグロ日本国特命全権大使

徳川家広 徳川記念財団理事、作家、徳川宗家19代にあたる

細川珠生 ジャーナリスト、明智光秀子孫

美根慶樹 元在ユーゴスラヴィア日本国特命全権大使

宮坂勝之 宮和洋女子大学学長補佐、聖路加国際大学名誉教授